

ケルト文化と生命の再生—神秘の渦巻文様から学ぶ



ケルト渦巻文様『ケルズの書』より(部分)
 ダブリン大学トリニティ・カレッジ図書館蔵

歴史の古層を現代に伝える「ケルト文化」は、「もうひとつのヨーロッパの源流」として注目を浴びています。古代ローマより古く、今から2800年前、フランス・ベルギー・スイス・ドイツ南部・オーストリア・スペイン、東ヨーロッパ諸地域までにわたり、鉄器文明を広め、生命力にあふれる装飾芸術を創造しました。その「大陸のケルト」の遺産を引き継いだアイルランド・スコットランド・ウェールズなど「島のケルト」の修道士たちは、中世キリスト教の聖書写本に、「渦巻、動物、結び目、組紐」など、力強くごめく神秘的な文様を盛んに表しました。

「世界で最も美しい本」と言われる『ケルズの書』の魅力は、19世紀後半からの「ケルト・リヴァイヴァル」に蘇り「アール・ヌーヴォー」にも影響を与え、現代のデザインにも反映されています。その理由は、ケルトの人々の豊かな自然観・生命観がそれらの文様・デザインに反映されているからと言えます。

この講座では、ケルト系の人々によって伝えられてきた芸術文化を通して、「死からの再生」「生命の循環」への祈りと思いについてお話いただき、日本人の心と響き合う文化芸術の特色に迫ります。



講師：鶴岡 真弓(つるおか まゆみ)

多摩美術大学 芸術人類学研究所所長・美術館館長

ケルト芸術文化・ユーロ=アジア造形表象研究。早稲田大学大学院修了。ダブリン大学留学。◆主著『ケルト/装飾的思考』(筑摩書房)『ケルト美術』(ちくま学芸文庫)『ケルトの想像力』(青土社)『装飾する魂』『ジョイスとケルト世界』(平凡社)『阿修羅のジュエリー』(イースト・プレス)『すぐわかるヨーロッパの装飾文様』(東京美術)『装飾デザインを読みとく30のストーリー』(日本ヴォーグ社)◆共著『図説ケルトの歴史』(河出書房新社)『ケルトの魂』(平凡社)◆訳書『ケルズの書』(岩波書店)◆監修『ケルト事典』『ケルト人』『ケルトの神話・伝説』(創元社)他。◆『ケルト再生の思想：ハロウィンからの生命循環』(ちくま新書)で河合隼雄学芸賞受賞

2022年

3月24日 (木)

19:00～20:30(18:30 開場)

定員：100名 (事前申込順、定員に達し次第締切)

参加費：1000円

会場：日比谷図書文化館

地下1階 日比谷コンベンションホール (大ホール)

今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申込み
 ホームページのお申込みフォーム
 電話(03-3502-3340)
 いずれかにて
 ①講座名
 ②お名前(よみがな)
 ③電話番号
 をご連絡ください。

小学生以下のお子様に参加される場合
 保護者の同伴が必要です。
 (同伴者の方にも参加費が必要です)

千代田区立日比谷図書文化館
 千代田区日比谷公園1-4 (日比谷公園内)
<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

都営地下鉄 ●三田線「内幸町駅」
 A7出口/徒歩3分
 東京メトロ ●丸ノ内線 ●日比谷線「霞ヶ関駅」
 B2出口/徒歩3分
 東京メトロ ●千代田線「霞ヶ関駅」
 C4出口/徒歩3分
 JR「新橋駅」
 日比谷口(SL広場)/徒歩10分



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の対策を実施していますのでご協力ください。

- ・ご入館時には手指の消毒、検温へのご協力をお願いします。
- ・館内では必ずマスクを着用ください。
- ・会場定員は207名ですが、日比谷カレッジはソーシャルディスタンス確保のため定員を少なく設定し、募集を行います。